

第2部 部門別協議会 (クラブ奉仕部門)

冒頭に、泉博朗ガバナーから話があった。クラブ奉仕委員長の役割はクラブ強化であり、具体的に会員増強、親睦、広報である。そして、戦略計画目標の「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と評価」「公共イメージと認知度の向上」の為、地区と連携する事である。また、「クラブの問題点の洗い出し」を行い活性化に繋げて頂きたい。地区としては戦略委員会を発足させクラブ戦略委員会のサンプル作りを行っていく。以上の話の締めくくりに、委員長の大きな役割として、「わくわくするロータリークラブを作る事が会員基盤の向上にも繋がる」とのメッセージがあった。

続いて、小山章松・次年度クラブ奉仕・拡大増強委員長からは、会員増強の秘訣として挙げられるのが会長の情熱であるとの話があった。退会防止策として例会の工夫や同好会の活用で親睦を深めているクラブも多数あり、また若手を委員(長)に任命し活躍を促しているなどの例示もあった。これはバズセッションでもさらに様々な成功例が各クラブから紹介された。

栗原大・次年度広報委員長からは、戦略計画の一つに「公共イメージと認知度の向上」があり、ロータリーが目指す「活発なクラブ・より大きな活動成果・より安定した財務状況と高い運営効率・より大きな注目と影響」という姿が会員増強に繋がるとの話があった。地区広報委員会としては、1.マイロータリーの活用法、2.クラブの活動報告の掲載、3.各クラブのホームページ作成、リニューアル、4.IMの取材、5.各クラブの卓話の予告掲載、6.ホームページの英文版の作成、7.奨学生の近況ビデオレター化などについて、各クラブのお手伝いを行うとの表明がなされた。

木村芳樹・地区研修委員は、クラブ奉仕部門の目的は強いクラブを作る事であり、会員一人々が「活動・メンバー・クラブ・ロータリアンである事」に自信を持っている事が重要と語る。クラブ研修は一人々が互いに磨き合う事が大切であり、クラブ全ての活動が会員拡大に繋がる、という趣旨を述べた。